

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2770105175		
法人名	社会福祉法人 野田福祉会		
事業所名	グループホーム ハーモニーあかさか		
所在地	大阪府堺市南区赤坂台2-9-23-101・102号 (電話) 072-290-0027		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪府大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年11月19日	評価確定日	

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤 3 人, 非常勤 7 人, 常勤換算5.6人	

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	5 階建ての	~1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	45,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	400 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり	1,500 円	

## (4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	6 名	男性 0 名	女性 6 名
要介護1	1	要介護2	2
要介護3	3	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 82 歳	最低 70 歳	最高 88 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハーモニー診療所、辻本医院、喜多クリニック、石橋歯科
---------	----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大阪府府営住宅モデル事業として団地の二室をリフォームされ、六名という少人数で家庭的な環境の中、生活されていました。職員は自治会に、入居者は老人会に加入し、地域に溶け込まれていました。食堂、居室、廊下等、限られたスペースではありますが入居者や職員が共に生き生きと生活されていました。外出や散歩も積極的に行い、食事の買い物も入居者が行うなど入居者のペースに合わせて支援されていました。
--

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の内容を運営推進会議で発表し、助言を求めたり職員の中で話し合い、前回の評価で取り組みを期待したい内容については、改善を目指す取り組みをされていました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価を受けることでホーム全体の見直しや介護に対する原点の見直しに役立てていました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	二ヶ月に一回行う、運営推進会議ではホームでの活動内容や事故報告、外部評価の内容を報告し、出席者から助言を求め、改善するように取り組まれました。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	今回、提出して頂いた家族アンケートの結果からも信頼関係の深さを感じられました。日頃の面会の際や家族や入居者を含めた食事会等で親睦を図られています。月に一回は電話や面会時を利用し、健康状態や金銭面等の報告をされていました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	職員は自治会、入居者は老人会に入り、地域の夜警やカラオケにも参加され連携に努められていました。外出の際も地域の方と挨拶を行い、溶け込む努力をされているとのことでした。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念とは別に管理者と職員が話し合い「笑顔を絶やさない」事業所作りに努めていました。年度ごとにホームでの目標を設定し二十年度は「笑いの絶えない家」と目標設定されていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に法人理念を掲示し、又、ホーム独自の理念を掲げ、会議等を定期的に行い、立場に関係なく皆で共通理解に努めていました。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームで自治会に入り、自治会役員も行っている。十二月末には夜警の行事にも参加予定されていました。入居者は老人会に加入し月に三回は交代で地域のカラオケに参加され住民との交流も図られていました。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を受けることでホーム全体の見直しや介護に対する原点の見直しに役立てていました。具体的にも前回の外部評価で取り組みを期待したい内容部分についてもほぼ改善されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を堺市の特例で法人のグループホームと合同で二ヶ月に一回、定期的に行われていました。様々な職種、知見者も参加の中、活動内容や事故報告、又、第三者評価の発表等を行い、そこで得た意見や助言を生かした取り組みをされていました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>二ヶ月に一回は南区グループホーム会議が八施設合同で行われ、そこに市町村担当者も参加され情報交換の場を設けているとのことでした。</p>	印 (取り組みを期待したい項目)	<p>グループホーム独自に市町村担当者と定期的に話す機会をつくることで、更に地域に根ざした話し合いができ、必要な時に迅速に相談できる関係になることを期待します。</p>
<b>4. 理念を实践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>年四回、法人の広報の「ハーモニー」とそれとは別に年四回、ホーム独自の「あかさか」を発行し、写真を添えて家族に報告されていました。その他のことは面会時や電話にて月一回は健康面や金銭についての報告をされていました。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時には職員の方から積極的に声掛けを行い、質問や意見が言いにくい関係にならないように配慮されていました。年末には家族、入居者を含めた食事会を行い、話しやすい環境づくりに配慮されていました。</p>	印 (取り組みを期待したい項目)	<p>玄関先に意見箱を設置されていましたが家人様からの意見はなく飾りようになっていたとのことでした。定期的にアンケートを配布するなど配慮されることで、更に運営に反映することを期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>常勤の職員の異動等はここ数年はなく、利用者が馴染みの関係を維持できるように配慮されていました。やむをえず非常勤の退職がある場合も家族や入居者に説明を行い、不安を与えないように配慮されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、法人の勉強会に参加されているとのことでした。又、職員の段階に応じて法人外の研修に行くことを指示され、その研修内容を勉強会を通じて職員で共有されていました。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>二ヶ月に一度は定期的に堺市の南区のグループホーム同士の交流会を行い、質の向上、ネットワークの構築に役立てているとのことでした。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新しい入居者には馴染みの日用品や家具を持ち込んで頂いたり、家事、外出、買い物等、自宅でされていたことを出来るだけして頂くように配慮されていました。家人様も希望があれば泊まれるように配慮されたり臨機応変に対応されているとのことでした。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者に対してその人らしく入居前のライフスタイルを尊重しながら個別ケアを心掛け、得意なものをして頂いたりそれを職員が教えて頂いたりと共に協力しあう関係を心掛けていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの生活歴の把握を行い、希望や意向をできる限り尊重するように心がけていました。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>常駐のケアマネジャーを中心に職員全体で家族や本人から希望や意向を確認し、大阪府のグループホームのオリジナルの書式を利用して細かい部分まで配慮した介護計画を作成されていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月に一回は介護計画をケース会議で話し合い、半年に一回は介護計画の見直しを行い、ケアマネジャーが家族に説明し、同意を得ていました。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>六人という少人数を生かして通院、外出、外食の援助、老人会の参加等本人や家族の希望に添って、柔軟に対応されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>必ず週一回の主治医の往診がありそれとは別に訪問看護も週一回、訪問されています。協力医療機関も歯科、精神内科など様々な症状に対応するように配慮されていました。現在は家族の希望はありませんが希望があれば家族や本人希望の病院にも対応されるとのことです。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に法人としての緊急時の対応、及び重度化、看取りに関する指針を整備し、家族や本人から同意を得ていました。看取りは行ってはいないとのことでしたが、重度化されたときは法人と連携をとられているとのことでした。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>限りあるスペースの中で記録や個人情報の保管場所を決め、プライバシーに配慮されました。トイレ等の声掛けもさりげなく行われていました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員の都合だけではなく一日一回は外気に触れることを心がけ散歩等されていました。外出や買い物も本人の希望を尊重し行われていました。起床、食事、入浴等も一人ひとりのペースを大切にして柔軟に対応されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新聞の折り込み広告を見て夕食のメニューを決められたり、当番制や入居者のペースに合わせて食事の準備や後片付けをされていました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	二日に一回は必ず入浴され、希望があれば毎日でも可能な体制を整えていました。入浴時間もゆっくりできるように配慮されていました。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前の生活歴を把握し、ぬりえや食事の準備等入居者の趣味や能力を生かした生活を支援されていました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	雨等の天気不良以外は毎日、散歩や外出を行い、近所の住民の方と話す機会を設け、交流にも努めていました。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	府の危機管理体制の指導のもと、防犯の為に玄関に鍵をかけておられたが最近では夜以外は職員が見守りや防犯を意識することで鍵をかけない取り組みを行い、訪問される方が入りやすいように配慮されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時のマニュアルを各職員に配布し、年二回、避難訓練を行い、災害対策を意識されていました。又、目に届く所にも災害時のマニュアルを完備され、万が一に備えていました。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ケース記録に細かく食事、水分摂取量を記入し、一人ひとりの状態を把握するように努めていました。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の廊下には入居者が参加した行事や外出等の様子を展示し、温かみのある空間作りに努めていました。食堂には入居者の作成した展示物に入居者の写真を添え、いつでも話題に出来るように配慮されていました。展示物のレイアウトも幼稚さもみられず落ち着いた雰囲気を感じました。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>どの居室にも使い慣れた家具の持ち込みや写真の持ち込みがみられました。仏壇を持ち込まれる方もいっしょり、居心地よく過ごせる配慮をされていました。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。